

読む力

中上級

コミュニケーション学院

[監修] 奥田純子

[編著] 竹田悦子・久次優子・丸山友子

八塚祥江・尾上正紀・矢田まり子



くろしお出版

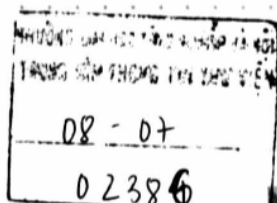
読む力

中上級

コミュニケーション学院

[監修] 奥田純子

[編著] 竹田悦子・久次優子・丸山友子
八塚祥江・尾上正紀・矢田まり子



くろしお出版

は じ め に

本書は、「読む力 中級」を終えた学習者のための教材です。「読む力 中級」では、中級の壁を越えることが目的でした。すでにその力を身に付けた皆さんには、ぜひとも次のステップ、読みの上級者を目指してほしいと思い、本書を作成しました。

読みの上級者とは、どのような読み手でしょうか。言語的にも構造的にも難しい専門的な文章を理解できるというだけでは、十分ではありません。本書でいう上級者とは、文章の難易度に関わらず、クリティカル・リーディング(批判的読み)ができる読み手です。

クリティカル・リーディングというのは、著者の言い分を鵜呑みにせず、眉に唾を付けながら、文章をじっくり吟味しながら読むことです。批判的と聞くと、非難したり、攻撃したり、けなしたりすることのように思いがちですが、そうではありません。例えば、書かれていることは、ほんとうにそうかどうか、このような角度から見ればこうも考えられないだろうか、そもそも著者はどのような前提を持って書いたのだろうかなどを考えながらテキストを読むということです。つまり、書かれていることを、簡単に納得したり、信じたりしない読み手の姿勢や態度であり、さまざまな角度からテキストを検討するための思考技術の一つがクリティカル・リーディングです。

膨大な情報や知識があふれている現代、主体的にそれらを取捨選択し、自律的に問題を発見し、創造的に解決する力は、ことばの力と共に今を生きる人に必須の能力です。この能力の基礎となるのが、クリティカル・リーディングを通して鍛えられる批判的思考力です。ですから、クリティカル・リーディングは、学生ばかりでなく、ビジネスパーソンや主婦など、すべての人が身につけるべき技術だと言えるでしょう。

本書のねらいは、みなさんが自力で日本語によるクリティカル・リーディングができるようになるためのコツを身につけてもらうことにあります。そのために、各課にクリティカル・リーディングのポイントをタスクの形にして掲載しました。タスクを通して、書き手の思考の道筋を的確に追いながら、問題を探出し、明確な問いを立て、文章を吟味しながら読む技術をぜひ、自分のものにしてください。本書が、一人ひとりのクリティカル・リーディングの力を付けることに役立てば幸いです。

2013年 神戸にて風光る海と山とを望みつつ

奥田純子
おくだ じゅんこ

目 次

はじめに iii この本の使い方 v この本をお使いになる先生方へ xv

プログラム	クリティカル・リーディングへの扉 _{とびら}	1
第1章	私のニュースの読み方 □池上彰(著)	7
第2章	価値の一様性 _{かち} □河合隼雄(著)	19
第3章	言葉の起源をもとめて..... □岡ノ谷一夫(著)	31
第4章	経済学とは何か..... □辻正次・八田英二(著)	43
第5章	思いやり..... □清ルミ(著)	55
第6章	住まい方の思想..... □渡辺武信(著)	67
第7章	決まった道はない。ただ行き先があるのみだ 一獣医師・齊藤慶輔 _{じゅういし さいとうけいすけ} □NHK「プロフェッショナル」制作班(著)	79
第8章	メディアがもたらす環境変容に関する意識調査 一電車内の携帯電話使用を例にして _{かんきよう けいたい} □石川幹人(著)	91
第9章	改訂 介護概論 _{かいいてい かい こ がいるん} □小池妙子(編著)・丸山美知子 他(共著)	99
第10章	ことばの構造、文化の構造 一共時的展開と通時的展開 _{てんかい} □鈴木孝夫(著)	111
第11章	観光で行きたい国はどこ..... □平松貞実(著)	123
第12章	化粧する脳..... □茂木健一郎(著)	137
チャレンジ	クリティカル・リーディングを磨こう! _{みが}	149

- 頭を柔らかくする複眼思考レッスン ① ○○なものを探せ! 30
- ② これ何に使える? 54
- ③ 仮説をつくろう。 98
- ④ 仲間同士!? 122

この本の使い方

対象とする学習者

- 大学、専門学校等で学んでいる人、学ぼうとしている人
- アカデミックな日本語を読めるようになりたい人
- 日本語能力試験(N1)、日本留学試験に向けて読解の勉強をしたい人

この本の特徴

特徴1 ... 学習目標が見える！

●各課の学習目標には[できること 1]と[できること 2]の2つがあります。

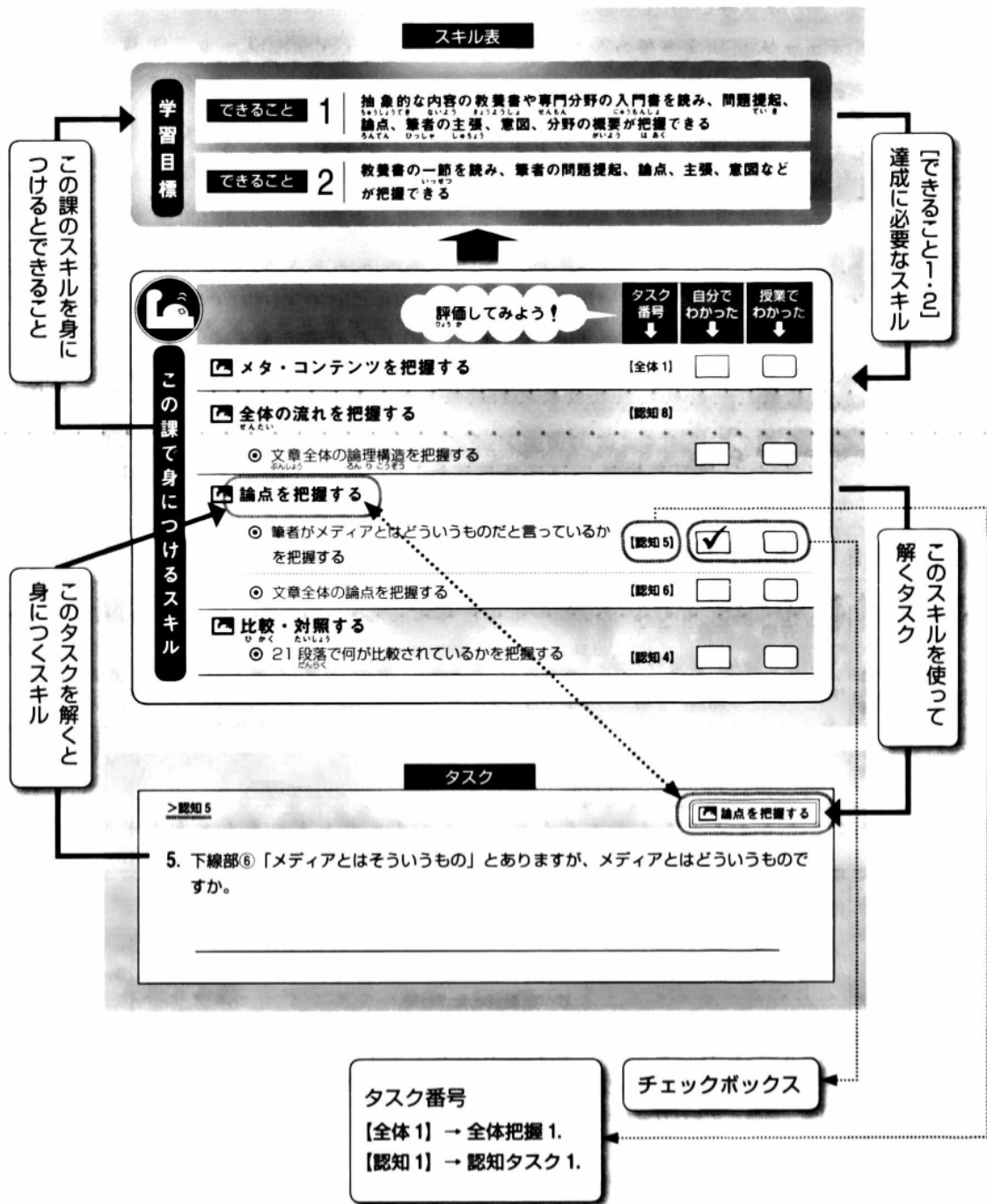
できること 1 この本で達成する大きな学習目標です。

できること 2 [できること 1]を細かく分けたのが、[できること 2]です。その課の勉強は何のためか、これを勉強することによって何ができるようになるのかわかります。

	できること 1	できること 2	
第1課～第7課	抽象的な内容の教養書や専門分野の入門書を読み、問題提起、論点、筆者の主張、意図、分野の概要が把握できる	教養書の一節を読み、筆者の問題提起、論点、主張、意図などが把握できる	第1課、第2課
		教養書の一節を読み、筆者の研究の動機と仮説の概要が把握できる	第3課
		専門分野の入門書の一節を読み、その分野の概要が把握できる	第4課
		エッセイやコラムを読み、比較、対照、構造化、アナロジーを押さえながら、筆者の主張、意図が把握できる	第5課、第6課 第7課
第8課～第9課	論文の抄録、専門書の目次を目的に応じて読める	学術論文の抄録を読み、研究の概要（目的・方法・結果・考察・結論）が把握できる	第8課
		専門書の目次を読み、目的に応じて目次からその本で読むべき箇所を見つける	第9課
第10課～第12課	抽象的な内容の教養書や専門分野の入門書を読み、比較、対照、構造化、アナロジーを押さえながら、問題提起、論点、筆者の主張、意図、分野の概要が把握できる	専門分野の入門書の一節を読み、比較、対照、構造化、アナロジーを理解し、筆者の主張、意図が把握できる	第10課
		専門分野の入門書の一節を読み、調査結果を比較、対照しながら、筆者の主張が把握できる	第11課
		教養書の一節を読み、取上げられた事象の現状、展望、原因、問題点などが把握できる	第12課

特徴2 ... 必要なスキル(技能)がはっきりわかる！

- 課のはじめに「この課で身につけるスキル(スキル表)」があります。スキルは、全体把握と認知タスクを解くことによって確認できます。「タスク(問題)」⇒「スキル(技能)」⇒「学習目標(できること)」というつながりがはっきり見えます(スキルの内容については pp.xi-xii を参照)。



◎「この課で身につけるスキル(スキル表)」のチェックの仕方

タスクを解いた後、自分で「この課で身につけるスキル(スキル表)」や巻末の「スキル一覧表」にチェック✓してみてください。得意なスキル、苦手なスキル(あなたに必要なスキル)がわかります。自分の弱い部分を知って勉強すれば、読む力が確実に身につきます。

タスクを解く

→

評価してみよう!

タスク番号

自分でわかった

授業でわかった

☒ 論点を把握する

○ 筆者の論点を把握する

[認知9]

☒

☒

何ができたの?→得意なスキル

何ができるようになったの?→苦手なスキル=必要なスキル

◎ 巻末には「スキル一覧表」があります。その課の学習を終えて、それぞれのスキルが身に付いたかどうかを自己評価し、チェック✓してみましょう。得意なスキル、苦手なスキル(あなたに必要なスキル)を把握して、スキル向上に役立てましょう。

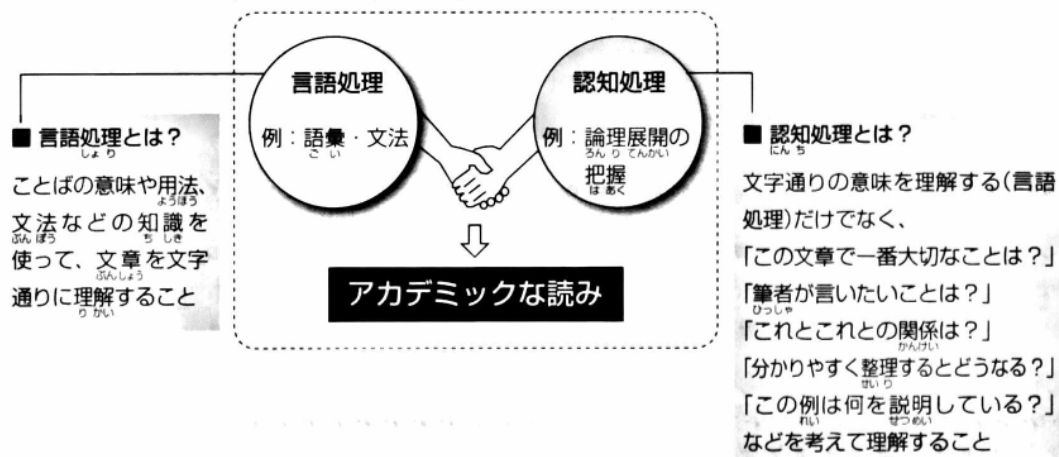
学習目標	できること①	抽象的な内容の教養書や専門分野の入門書を読み、問題提起、論点、筆者の主張、意図、分野の概要が把握できる		
	できること②	教養書の一節を読み、筆者の問題提起、論点、主張、意図などが把握できる		
各課詳細	課	第1課	第2課	第3課
	タイトル	私のニュースの読み方	価値の一様性	言葉の起源をもとめて
	メタ・コンテンツを把握する	☒	☒	☒
	全体の流れを把握する	☐	☒	
	論点を把握する	☐	☐	
	論理展開を予測・把握する			☐
	明示的な主張・意図を把握する		☐	☐
	結論を把握する			
身につけるスキル	特定の情報のみを抽出する		☐	

チェックボックス

特徴3

... アカデミックな読みをするための3種類のタスク

●大学、専門学校で必要とされるアカデミックな読みとは？



●各課にはアカデミックな読みをするための3種類のタスク(「全体把握」「言語タスク」「認知タスク」)があります。

1. 全体把握

メタ・コンテンツ(次ページ参照)とテキストの種類を問うタスクです。テキストを読んで、そこに書かれたことはつまり何なのか、というメタ・コンテンツの形にまとめる力は、レジュメやレポートを書くときに必要です。まず、時間をかけずにサッと読んで、解いてみてください。もし、分からなかったら、「言語タスク」「認知タスク」を解いた後でもう一度考えてみてください。

2. 言語タスク

「認知タスク」を解くために必要な言語処理を問う問題なので、「認知タスク」を解く前に解いた方が効果的です。

3. 認知タスク

言語処理だけでなく、認知処理を同時に必要とするアカデミックな問題です。選択式のタスクが多いのには理由があります。試験形式に慣れるためではありません。まず、表面的でない精緻な読みを求める選択肢の検討を通じて認知処理が促されます。それから、表現にエネルギーを使わないので、読みに集中できます。さらに、的確な言語表現に豊富に触れることができ、アカデミックな表現力をつける土台になります。